

実践報告

久木野小学校

総合的な学習 4年 くぎの学習

# 「私たちのくらしと川」 ～用水路探検を出発に～

学習の流れ

課題発見

【20時間】

- ・オリエンテーション
- ・用水路探検
- ・土地改良区取材
- ・白川交流会
- ・学習課題づくり 等

課題追求

【20時間】

- ・各班の課題追求活動
- ・見学旅行
- ・テレビ会議
- ・「川」視聴

課題解決

【25時間】

- ・課題をまとめる
- ・中間発表
- ・課題の練り上げ
- ・発表会
- ・テレビ会議 等

実践化

【15時間】

地域で実践化

実践内容

課題発見

多くの体験活動（川遊び、用水路探検、白川交流会等）を取り入れ子どもたちの課題発見の手がかりとした。この活動で5つの課題が設定できた。これらの体験は、総合的な学習だけでなく、国語科や社会科・図工科などの教科学習とも結び付けた。特に社会科「きょうどに伝わる願い」は、学習が深まった。

- ・用水路探検  
学校を起点に用水路を辿り、その始まりである竹崎水源まで半日かけて歩き調査活動。  
田植えの時期で、効率的な田んぼへの水の引き込みや、道路をまたいだ用水路の仕組みなど、その巧みさに感激。
- ・川遊び  
近くの白川に、図工で行うストーンペインティング用の石拾いと川遊びを行う。
- ・白川交流会  
川遊びの場所で、地域の老人会の方と一緒に水質調査、水生生物観察、水鉄砲遊びを行った。



・土地改良区取材  
用水路探検でたくさん疑問をもって、土地改良区に取材に出かけ、用水路の話を聞く。

# 白川わくわくランド ニュース

発行

- 白川流域住民交流センター 活用懇談会
- 白川流域住民交流センター (白川わくわくランド) 〒860-0854 熊本市東子飼町8-55 TEL・FAX(096)346-5454
- ホームページアドレス <http://www.wakuwaku-land.com>
- メールアドレス [wakuwaku@wakuwaku-land.com](mailto:wakuwaku@wakuwaku-land.com)

平成十四年度から「総合的な学習の時間」がスタートしました。各小・中学校では地域の特性等鑑み、それぞれ特色ある創造的な学習が行われていることと思えます。

今回及び次回(9号)は、久木野小学校4年生の実践報告を紹介します。久木野小学校4年生の総合的な学習の年間計画は、「テーマ学習」「情報」「英会話」から成っておりますが、「テーマ学習・くらしと川」をテーマにした環境学習を取り上げます。

課題追求

それぞれの課題解決に向けて、本やインターネットで調べる活動、アンケート、地域の方にインタビュー、ミニ水路作り等の活動を行った。また、白川わくわくランドでの白川下流域での調査活動や金峰山から白川河口域見学等を行った。



<白川わくわくランドで>

「課題解決」と「実践化」については次号で取り上げます。

## 白川の橋(4) 薄場橋



白川河口から4番目の橋。左岸の薄場町と右岸の新土河原町を結ぶ。白川にはめずらしいトラス橋で、昭和33年に完成している。

長さ191m。

「薄場」の町名は白川の渡し場を「臼場の渡し」と称したことにちなむ。薄場橋のすぐ下流に十八口堰があり農業用の取水が行われている。この堰の取入口の傍、白川土手の上に、薄場石堰碑がたっている。

# 50年前の洪水の爪痕表れる?!

河川災害の学習の資料になれば幸である。

この中のいくつかは、白川わくわくランドに保存しておきたいと考えている。

さて、その時であった柱等が、子飼橋架け替えの際川底に埋もれたものと思われる。今回の工事で再び表れた大黒柱と思われる大きな柱や生活感がにじむ木白など、当時の災害を想像させるに足りるものである。

そのため、大江地区方面に流路をかえた白川は、左岸側の多くの住宅を一気に飲み込んだのである。白川流域の犠牲者は四百二十二名におよぶがそのほぼ半分の方がこの地区の方たちだったと言われている。

部分だが、その間に5本の橋脚があり、それにたくさんの流木、柱などがかりダム化したのである。

今から五十年前の昭和二十八年、九州地方を襲った大雨は、白川流域にも言語を絶する悲惨な大災害をもたらした。そのなかで熊本市内の多くの橋が流される中、鉄筋コンクリート造りの子飼橋は流れることなく上流からの流木等を受け止めた。当時の子飼橋は、現在の橋のアーチの部分だが、その間に5本の橋脚があり、それにたくさんの流木、柱などがかりダム化したのである。

現在、子飼橋右岸の護岸工事が行われているが、旧橋脚の土台の付近を掘削中に木白や柱、木材などが掘り出された。これらは、六・二六水害時のものと思われる。



出てきた柱や木白



工事中の現場



# 寺子屋 「川視術」 報告

# 私が見つけた 「白川が美しく見える場所」 探してみませんか? その場所を!

平成14年12月14日(土)と平成15年1月25日(土)に行われました白川わくわくランド寺子屋「『白川が美しく見える場所を探そう!』～川視術のすすめ～」は約30名の方に参加いただきました。

2日間とも冬晴れの暖かい日差しに恵まれ、参加者は、思い思いに美しく見える場所を探しに白川河川敷を散策しました。

講師は、熊本大学工学部の小林一郎教授。「水戸の黄門様が肥後の国にこられました。城下を流れる白川の一番美しく見える場所を探し、黄門様を案内しましょう。そのために、今日はここぞと思う場所を探して、それぞれにカメラにおさめてきてください。」と、楽しく、巧みな導入で参加者はみんなやる気満々。

2回目は、撮った写真を班で見合いながら一番いい場所を1枚選び出し、最後に全体での話し合いで1枚を決定しました。

それぞれにいい場所探しができていて、「白川にこんなところがあったのか!」と感激でした。8歳から70歳代まで、幅広い年齢の層でしたが、小学生の写真は参加者から高い評価を受けました。参加者の作品は、コメント付きでわくわくランドに展示しております。ぜひご覧においでください。

## 白川の美しく見える場所

第1位



第2位



熊本大学工学部裏河川敷



8歳の子どもが選んだ場所

今まで白川は自転車で橋の上から見るか、バスの車窓から眺めるか部分的に見るだけで、じっくり見ることはありませんでした。前回の川視術のすすめではじめて白川の川岸を歩いてみていろんな発見がありました。

川の流れの美しさと石ころの丸さ、そしてこんな身近な場所にこんな広々としたいい場所があったのかと驚きました。(中略)

散歩する人、球技を楽しむ学生さん、のびのびと遊ぶ子供たちの姿を見て世界のどこかでいつも戦争が起きているのに、日本は平和だなと思いました。いつまでもこの平和が続きますように!! (参加者 木村さん)

## 江原中学校1年 総合的な学習

# 「白川の水」(環境問題)発表会

班	テーマ	学習内容
1	白川に架かる橋・堰の名前調査	地図上により白川に架かる橋や堰の名前を調べ、広用紙(地図上)にまとめる。
2	井手の流れの確認	2500分の1の都市計画図を張り合わせる。白川と1～3の井手の確認作業。
3	白川・黒川水系の地形、等高線マップの作成	水源から河口までの白川流域を等高線で表し、断面図を作成する。
4	水害の歴史、年表づくり	白川水害の歴史を白川わくわくランドに出かけ、資料から年表を作成する。(文献調査)
5	川の歴史、鼻ぐり井手を中心に	加藤清正の川づくり、特に「鼻ぐり井手」(菊陽町)を中心に川の歴史を調べる。
6	バックテスト(水質調査)、水生生物	CODの測定を行う。水質調査の様子や仕方、水生生物を表にまとめる。
7	しらかわ里親協定について	「しらかわ里親協定」とはどんなことか聞き取り調査をしてまとめる。(聞き取り調査)
8	多自然型工法	工事事務所に出向き、多自然型工法のしくみを聞き、現地を見学してくる。工法をまとめる。
9	水源と滝調べ	水源と滝を調べマップに記入する。
10	温泉と公共施設調べ	白川・黒川流域の温泉と公共施設を地図上に記入する。
11	川の通信簿付け	白川の「川の通信簿」を項目に従って付ける。本庄校区の白川に出かけ、現地調査をする。
12	ストーンペインティング	白川から石を拾ってきて、石の形に合った絵を描く。小さいものは、ストーンウェイトに利用する。

## 新刊紹介

・「ふるさと子供 遊びの学校」  
・「まんが 身近な環境テスト」  
・「教科書にでてくる生きものウォッチング 池や川に行こう」  
・「野外で遊ぼう たのしい自然体験」  
など子供向け、大人向けの新刊54冊を新たに入れました。ご利用ください。



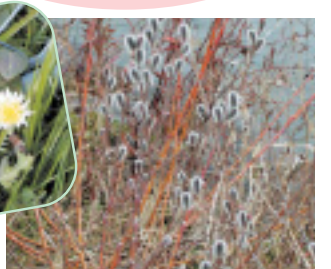
## 写真で見る白川の春



(アブラナ)



(タンポポ)



(ネコヤナギ)

白川小学校の子供たちが作った小さな小さな白川河川敷の花壇。親水性の歩道の際で春を知らせる。